

■ 概要

引き続き、天候は雨となりました。今日は、午前にはアクセラレーション(加速走行)とスキッドパッド(8の字旋回)、午後にはオートクロス(1周 787m のコースを1周走行)が行われました。

■ 動的車検 (ブレーキ・騒音・チルト)

懸念していた通り、昨日から先送りされた車検項目を全てパスしないと、午前中のアクセラ、スキッドパッドに出場できないという、午前中に全てが詰め込まれたスケジュールになりました。しかし、前日にミーティングを重ね、どれほどタイトなスケジュールになっても、確実に車検をパスできる行動計画を立てていましたので、早々に車検をパスできました。

懸念していたブレーキのロックテストは1回目でパスし、騒音、チルトも全く問題なく通過できました。技術車検(静的車検)、ブレーキ試験、騒音・チルト試験でそれぞれ車検ステッカーをもらい、3枚揃いましたので無事に動的審査に出場できることとなりました。以下の画像が、コンプリートした車検ステッカーです。



車検ステッカー



チルト試験の様子

■ アクセラレーション・スキッドパッド

アクセラレーションでは、75mの加速タイムが競われます。当大学は、アクセラレーションに出場した44チーム中、33位でした。また、8の字旋回のタイムを競うスキッドパッドでは、出場した30チーム少々の内、11位でした。

雨の合間のわずかなドライコンディションに走れたチームと、レインコンディションの中走ったチームのタイムに大きな差があり、昨年40位くらいのチームが上位に入るなど、大荒れの結果となりました。アクセラ、スキッドともに、タイムの分散(偏差)によって得点を配分しています。特に、旋回性能を競うスキッドではドライとレインの差が激しく、1位は満点の50 pointで、2位では36.40 pointと大きく下がり、同立11位が2.50 pointで20チーム以上もいるという、完全に二極化した状況でした。

当チームは、ともにレインコンディションでの走行となり、アクセラ 15.86 point / 75 point (33位)、スキッド 2.50 point / 50 point (11位)と、ポイントを伸ばすことが出来ませんでした。スキッドパッドは、タイムでは15位のポジションにいらながらも、タイムで30数位のチームと同じ2.50 pointしか入らないという、残念な結果となってしまいました。

■ オートクロス

オートクロスでは、当チームは 66 秒 48、66 秒 06 というタイムで走りきることが出来ました。これは 52 チーム中 27 位で、75 点/150 点を獲得しました。



スタートした瞬間のマシン



オートクロスのタイム

■ 静的審査（コスト・デザイン・プレゼン）

大会側から静的審査のポイント、順位が発表されました。それによると、

コスト 16 位 / 70 チーム

デザイン 29 位 / 70 チーム

プレゼン 29 位 / 70 チーム

となっています。掲示板前があまりの人だかりだったため、ポイントまで確認することはできませんでした。すいている時間に確認に行き、また詳細を報告したいと思います。また、デザインやプレゼンのポイントの内訳は、大会終了後に発表されますので、なぜこのポイントになったか、どこが評価されたのかは、まだ分かりません。